

まちとつながるサイン

屋外広告物適正化推進委員会

地域に共感される屋外広告物

SIGN IN HARMONY WITH
TOWNSCAPE

事例編

まちとサインのもっといい関係。

一般に、看板、サインと呼ばれる屋外広告物は、事業主・広告主のみならず、まちが経済活動を行う上で重要なコミュニケーションツールです。

一方で、屋外広告物は、まちなみや景観を構成する要素として、公共空間を彩り、人々の生活を豊かにし、潤いを与える「まちのコミュニケーションツール」でもあります。

屋外広告物を通じたコミュニケーションの主体は、事業主・広告主のみならず、ユーザーである地域住民のみならず、まちを訪れるみなさま、そして地域社会です。

この冊子は、「共感」をキーワードに、地域と屋外広告物のもっといい関係を、みんなで考えるきっかけとなることを目的として作成したものです。

屋外広告物は、人に身近な効果的な広告媒体であるとともに、まちを楽しく、より个性的に、魅力あるものにする力を持っています。

この冊子が、事業主・広告主のみならずのサインづくり、魅力ある地域づくりの一助になれば幸いです。

屋外広告物適正化推進委員会

ABOUT US

屋外広告物適正化推進委員会は、新しい時代の屋外広告物のあり方を考えることを目的に、屋外広告物に携わる学識経験者、国土交通省・地方自治体の屋外広告行政担当者及び業界関係者で組織する、全国的な産学官連携ネットワークです。

はじめに

— 01 まちとつながるサイン 事例編

サインの文化の復興を、地域から。	2
全国で広まる広告景観賞	4
みんなでみつけて、みんなでほめる	6
まちづくりの好循環へ	8
全国の優れたサイン	
地域に共感される屋外広告物	12
おわりに	36

サイン文化の復興を、地域から。

「まちとつながるサイン」を、積極的に評価する機運が高まっています。

「日本中どこへ行っても優れた看板職人がいて、それが解る依頼主、鑑賞できる大衆がいる。」

「広告景観賞」として、地方自治体や地域の経済団体などにより、良好な景観形成に寄与するもの、優れたデザインのもの、市民に愛されるものなどを対象に、優良な屋外広告物の所有者、設計者、施工者などを顕彰する取組みが全国各地で行われています。

広告景観賞は、この伝統を現代に回復するための地域における試みのひとつと言えるでしょう。

「看板役者」「暖簾を守る」という言葉があるように、従来、看板はきわめて高いイメージを持ち、日本のサイン文化は、近世の時点で高度な域に達していたと言われています。

「まちとつながるサイン 地域に共感される屋外広告物」は、本冊子（事例編）と本編の2つの冊子で構成されています。

「看板役者」「暖簾を守る」という言葉があるように、従来、看板はきわめて高いイメージを持ち、日本のサイン文化は、近世の時点で高度な域に達していたと言われています。

事例編では「広告景観賞」を受賞した事例を中心に、「まちとつながるサイン」Ⅱ地域に共感される屋外広告物をご紹介します。

明治初年に来日、幕末・明治の看板コレクターとしても知られるエドワード・S・モース博士が次のような意味の賛辞を残しています。

SIGN IN HARMONY WITH TOWNSCAPE



■「熙代勝覧（部分）」（ベルリン東洋美術館蔵）

1995年にドイツで発見された江戸時代後期の日本橋通りのまちなみを詳細に描いた長さ12.3mの絵巻物。

88の店舗、1671人の通行人等が描かれています。

建物の素材や色彩、形式が一定の幅に納まっており、暖簾や看板がリズムカルに配され、華やきを添えています。

秩序と変化の調和、そして軒を接する両隣との良好な関係を築くことができれば、現代の広告景観も明らかに向上するでしょう。

※画題の「熙代勝覧」は「熙（かがや）ける御代の勝（すぐ）れたる景観」の意

全国で広まる 広告景観賞

全国の屋外広告物を対象とした表彰制度の一覧です。
 ◎は屋外広告物に特化した表彰制度

表彰は、広告主の皆様にとっては、CSR（社会貢献活動）の一環として社会的な信頼獲得につながります。また、表彰された広告物は、主催機関により広報紙やホームページ、SNSなどの媒体を通じて広く住民や関係者に周知されるため、社会的信頼の獲得のみならず、企業PRなどの相乗効果が期待できます。

自治体名	賞の名称	部門名
青森県	ふるさとあおもり景観賞	屋外広告物部門
八戸市	八戸市景観賞	
郡山市	郡山市景観まちづくり賞	
茨城県	まちづくりグッドサイン賞	
宇都宮市	宇都宮まちなみ景観賞	サイン部門
太田市	太田市景観賞	
富岡市	富岡市景観賞	
川口市	川口市都市デザイン賞	
千葉市	千葉市都市文化賞	景観広告部門
文京区	「文の京」都市景観賞	景観広告賞
横浜市	横浜・人・まち・デザイン賞	
藤沢市	ふじさわ景観まちづくり賞	景観部門 屋外広告物の部
秦野市	ふるさと秦野生活美観表彰	
大和市	大和市街づくり賞	屋外広告物部門
長野市	長野市景観賞	
松本市	松本市景観賞	
小布施町	小布施景観賞	
山梨県	美しい県土づくり大賞	おしゃれな広告物賞
富山県	◎景観広告とやま賞	
石川県	◎いしかわ広告景観賞	
金沢市	◎金沢広告景観協力賞	
福井県	◎ふるさと福井景観広告賞	
静岡県	静岡県景観賞	
浜松市	◎はままつ広告景観賞	



自治体名	賞の名称	部門名
富士宮市	富士宮市景観賞	
岐阜市	岐阜市景観賞	屋外広告物部門
高山市	高山市景観デザイン賞	サインの部
名古屋市	名古屋まちなみデザインセレクション	
長浜市	◎長浜景観広告賞	
大津市	◎きらッとおおつ景観広告賞	
京都市	京都景観賞	屋外広告物部門
奈良県	◎なら景観調和広告賞	
堺市	堺市景観賞	
豊中市	豊中市都市デザイン賞	
神戸市	神戸市都市デザイン賞	屋外広告物部門
姫路市	姫路市都市景観賞	
尼崎市	まちかどチャミング賞	
西宮市	西宮市都市景観賞	屋外広告デザイン部門
広島市	ひろしま街づくりデザイン賞	アート部門
高松市	高松市美しいまちづくり賞	
高知市	高知市都市美デザイン賞	
福岡県	◎福岡県屋外広告景観賞	
北九州市	北九州市都市景観賞	屋外広告物デザイン賞
福岡市	福岡市都市景観賞	広告賞
佐賀市	佐賀市景観賞	
長崎市	長崎市都市景観賞	屋外広告物部門
熊本県	くまもと景観賞	広告景観賞
宮崎市	宮崎市景観賞	屋外広告物部門

みんなで見つけて、みんなでほめる

はままつ広告景観賞 ①

浜松市では、2013年度に「はままつ広告景観賞」を創設しました。これは、市民の暮らしに寄り添うサインに着目し、浜松のまちをステキに彩る看板や店舗を「みんなで見つけて、みんなでほめる」をコンセプトにした市民参加型の表彰制度です。

同賞は、お店部門とかんぱん部門から構成されています。

「お店部門」では、看板や広告、サインを軸とした空間演出により、おもてなしの心をつたえたり、楽しく快適な買い物空間を創り出して、まちの魅力を高めている店舗や看板など、「かんぱん部門」では優れたデザインにより、周辺の環境と調和し、まちの魅力を高めている広告・看板が表彰されます。

2014年の同賞では応募総数132点、公式サイトと市役所ロビー展示により実施された市民投票総数は3600票にのぼるなど、多くの関心が寄せられました。

デザインやアート、建築、まちづくりの専門家による現地調査や市民投票結果を加味した審査を経て賞が授与されます。



まちづくりの好循環へ

はままつ広告景観賞 ②

「はままつ広告景観賞」では表彰を目的とするだけでなく、子ども講座やワークショップを通して、屋外広告物や景観を、より身近なものとして考えてもらう取り組みが行われています。

子どもも大人も一緒になって、気になる看板や「看板のある風景」を撮影したり、看板にまつわるエピソードを集めるまち歩きなどが実施されています。

「まちとつながるサイン」への想いは次の世代へと受け継がれていき、屋外広告物とまちの未来を作っていきます。



はままつ
広告景観賞
2014

※2014年度、最優秀賞に





はままつ
広告景観賞
2014

※2014年度受賞作品は、美しい景観を
実現しています。

明治屋醤油株式会社

2014 はままつ広告景観賞 大賞
静岡県浜松市浜北区

審査評

明治屋醤油は浜北の閑静な住宅街にあり、周囲は豊かな自然環境に恵まれ、自然、歴史、文化の融合した良好な景観が形成されている。

外観はきれいに整備され、木の素材の温もりがやさしく伝わる。そして、建物の前には、昔の醤油づくりに使った杉樽が植木鉢として再利用され、古いものを長く保つ努力がとても印象に残る。

この作品の最も評価すべき点は、明治屋醤油の看板に加え、建築デザインの造形的な面白みと建物全体の雰囲気よさ、そして情緒の豊かさであり、見る人に古き良きものの懐かしいイメージと親しみを与えてくれる優れた作品である。

受賞のコメント

創業は明治8年。店舗は三代目が大正末期から昭和初期の間に建てたと思われます。気密性が悪い、老朽化が激しい等々不便点が多々ありますが、受け継いだものを次に伝えていきたい。ただその様な気持ちで今日まで参りました。今回、素晴らしい賞をいただき大変驚いております。今後も末永く現状を維持していきたいと思います。



全国の優れたサイン

地域に共感される屋外広告物

地域で事業展開する企業や事業所においては、地域への特別な配慮が感じられる事例や優れたデザインのサインが数多く見受けられます。

また、コーポレートカラーやデザインなど、ビジュアルが統一されたサインを用いることで、ナショナル・チェーン・ストアとしてのアイデンティティを確立するフランチャイズ店舗ですが、近年、色やサイズを変えたり、建物やまちなみに調和させたりなどのローカライズを行い、地域性や景観に配慮したサインを掲出するケースが増えています。

これらは、各地の「広告景観賞」などで、積極的に顕彰されています。

様々な業態の事例をご覧いただき、地域と共存・共栄し、共感されるお店づくりやサインづくりの参考としてください。

つ
な
が
る



■越山甘清堂武蔵本店（石川県金沢市）
第22回いしかわ広告景観賞



**マルブランシュ清水坂店
平成25年度京都景観賞
京都府京都市東山区**

2010年、世界遺産清水寺の門前である清水坂に開設された店舗です。店舗は周囲に溶け込む和風の建物ですが、軒先に掲げられた看板に洋風の文字を上手くあしらひ、落ち着いた雰囲気の中に、華やかさを併せもっています。白地の暖簾が清涼感を演出しており、和で統一された店内へ誘う役目を果たしています。



**石窯パン工房 KIEEBIAtt 若草店
第2回福岡県屋外広告景観賞
福岡県大野城市**

ユニークな形状の建物であるが、周辺の環境から突出した奇抜さとして目に映るのではなく、品もあり、パン工房という地域の人々に本物の味を提供する店の個性が伝わってくる。外観の土壁や瓦、レンガの素材色彩もまともがあり、周辺のマンションや住宅の色彩との調和が図られており、景観への配慮がうかがえ、建物全体が素晴らしい屋外広告物といえる。



洋菓子店



**パティスリー ラヴィ
第2回山梨県美しい県土づくり大賞
おしゃれな広告物賞 山梨県甲斐市**

洋菓子店らしい柔らかな雰囲気、抑え目なライトアップ等、全体のバランスがとてもよく整えられています。サインの周りに草木が豊富で、シンボルツリーもあることから、季節の変化やこれからの成長も楽しみな演出がなされています。

和菓子店



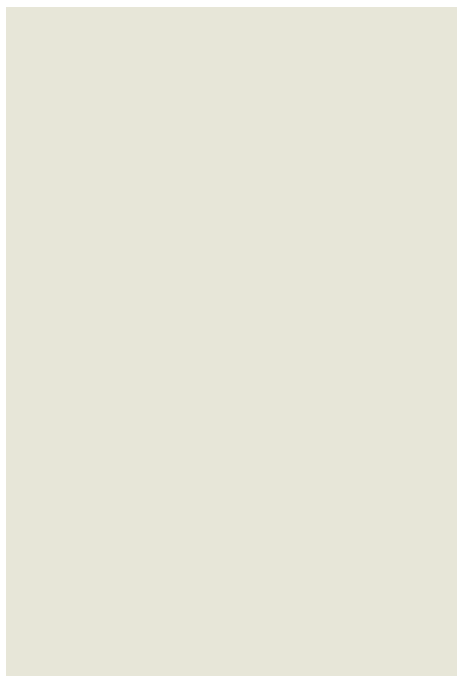
Patisserie Delice
2011 景観広告とやま賞
富山県富山市

大きなケーキ箱をイメージさせる建物と壁面の看板とが一体となり、閑静な住宅街のなかで、落ち着いた景観をつくり出しつつも、個性を出している点が評価できる。



富山不破福寿堂
2010 景観広告とやま賞
富山県富山市

市街地にある和菓子屋。建物の2階まである大きな看板でありながら、色調や取り付け方を建築と一体化させることで、落ち着いた雰囲気をつくり出している。ケヤキ並木が美しい通りともよく調和しており、街中にある看板のあるべき姿を示している。





御菓子司浅野耕月堂
平成25年度ふるさと福井景観広告賞
福井県あわら市

和を基調としながらも新しさがある広告物は、こだわりの菓子を扱う店舗のイメージをうまく発信しており、通りを歩く人に立ち寄ってみたいと思わせる雰囲気を出しています。



とらや京都一条店
平成25年度京都景観賞
京都府京都市上京区

京都御所の西，烏丸通一条角に店を構える老舗の和菓子店です。時代に合った感性で絶えず新しさを生み出しているこうとする老舗の想いを、具現化した秀逸の店舗構えです。建物と調和する形で、お店のロゴマークをデザインした広告物は、建物同様に新しいものの、老舗の風格と上品さを創出しており。新たな挑戦を続けていく老舗の姿勢と共に評価できます。



聖護院ハツ橋総本店
平成25年度京都景観賞
京都府京都市左京区

玄関脇に掲げられている大提灯が非常に印象的な老舗和菓子店です。漆喰の白壁、虫籠窓の影、瓦屋根の色合い、茶色の暖簾と縦に流れる色調の重なりが心地よく、暖簾の赤と青の二重丸が全体を引き締めています。建物全体として和風の清涼感があり、眺めていて気持ちよさを覚えます。



越山甘清堂武蔵本店
第22回いしかわ広告景観賞
石川県金沢市

金沢の伝統文化としての蒸籠を上手に配置し、古いしきたりが感じられるデザインとなっています。



hair Akasaka 第3回山梨県美しい県土づくり大賞奨励賞 山梨県山梨市

シンプルなロゴと地色の組み合わせが大変洗練された印象をつくり出しています。派手になりがちな赤色ですが、建築や外構の現代的でニュートラルな雰囲気の中でちょうど良いアクセントとなっています。内照式の照明も控えめで、上品な雰囲気となっています。



hair garden *gleamm 平成25年度宮崎市景観賞 宮城県宮崎市

視覚効果を考え、背景とも調和し、落ち着きや風格が感じられるデザインです。



理美容室



美容室 June Berry 平成12年度岐阜市都市景観賞 岐阜県岐阜市

木製の外壁に調和したおしゃれなデザインです。



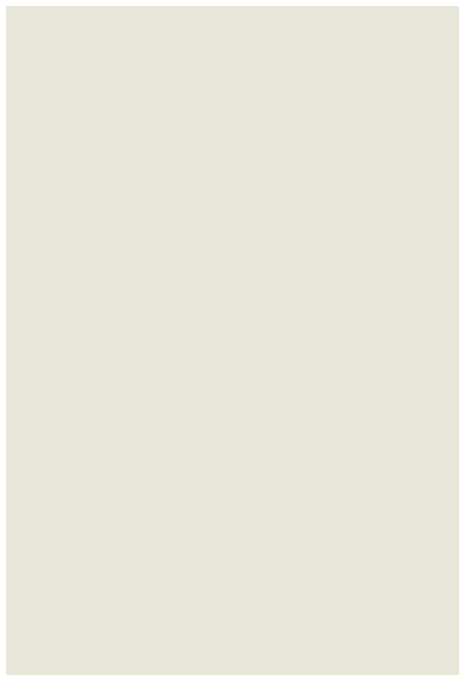
as it is
平成25年度京都景観賞
京都府京都市中京区

京都の町中に残る京町屋を改装した店舗です。ビルやマンションが立ち並ぶ中に、突如現れる独特の雰囲気を持つお店で、素敵な空間の存在感が、格子の窓ガラスから放たれています。看板もなんと読んでいいのか分からない感じが心くすぐられ、看板の横に添えられた鬼瓦に遊び心が見え隠れています。



ZERO + PRODUCTS
2010 景観広告とやま賞
富山県射水市

オレンジを基調とした看板は透明感のある素材の使い方が新鮮で、敷地内の芝生に映えて印象的である。建物の外観と看板のバランスが良く、トータルデザインが優れている。



socia hairmake
第 21 回いしかわ広告景観賞
石川県金沢市

シンプルで分かり易いデザインであり、ガラスを用いた内照式の照明効果により、夜間にはさらに映えるものとなっています。



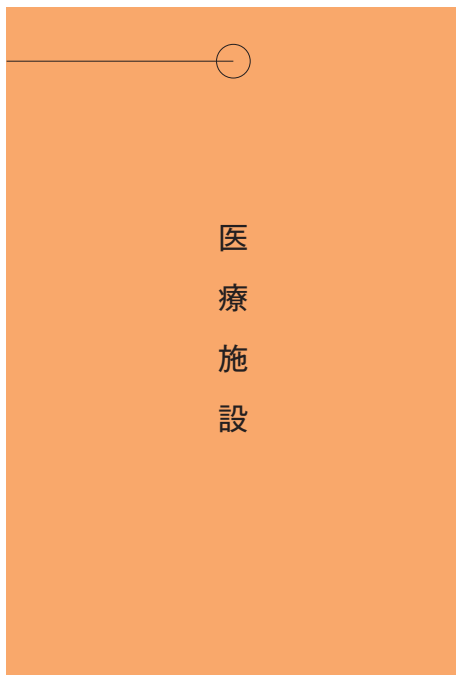
なでしこ台歯科
2011 景観広告とやま賞
富山県富山市

これまでの歯科医院のイメージを一新する外観の建物で、建物をすっきり引き立たせるようなサインに好感が持てる。敷地内に点在する緑とも調和しており、細部にわたって工夫がなされている。



前田歯科クリニック
平成 25 年度宮崎市景観賞
宮崎県宮崎市

通りの街路樹の影を建物の壁に描き、景観を取り込んだユニークな広告物です。



医療施設



たなか整形外科
2014 はままつ広告景観賞
静岡県浜松市浜北区

建物周囲に十分な空地を設けることで高さを感じさせないすっきりした外観は、遠目を引く。前面道路沿いに自立するサインや壁面サインは、図と地の関係が絶妙で色数も少なく、医療施設のサインとしては必要最低限。心配しなくなるほど控えめである。建築・ランドスケープ・サインのトータルデザインが施設のアイデンティティを表現している。植栽が生育し、緑に囲まれた医院として街の風景になっていくことを期待したい。

商店街



大船田園眼科
第3回鎌倉市景観づくり賞
神奈川県鎌倉市

植栽の緑と看板が一体となるよう考えられた上質なデザインで、まちの雰囲気をつくっています。



新宿大通商店街振興組合
アートフラッグとしての日本の「和」のデザイン
第9回東京屋外広告コンクール
東京都知事賞
東京都新宿区

喧噪の新宿にあって、アートフラッグは小サイズながら周りに負けない訴求力と存在感を示していた。それは表現モチーフである花札の猪や浮世絵の造形力を活かすデザインの配慮が適切であったからである。



医療法人財団五省会西能病院
2012 景観広告とやま賞
富山県富山市

モノトーンで統一された建築物のフォルムに対して、色調を合わせたサインが展開されており、建物と併せて統一感のあるサインとなっている。夜間も照明の扱い方が巧みで美しい。

飲食チェーン店



仙台市クリスロード商店街サイン
宮城県仙台市

写真は、2011年3月26日、東日本大震災直後の仙台市内の様子です。屋外広告物は、商業目的のみならず、非営利の目的で使われることもあります。屋外広告物は、公共空間で意志を発信する媒体であり、そのメッセージは営利・非営利を問わず、同じ時間、場所を共有する不特定多数の人々に対して、掲出者の想いを表現することができます。



マクドナルド金閣寺店
平成25年度京都景観賞
京都府京都市北区

全国展開の外食チェーン店ですが、世界遺産である金閣寺に近いこともあり、サイン全体に景観を非常に意識したアレンジを施しつつも、のびのびとした開放的なデザインとなっています。



南三陸さんさん商店街
宮城県石巻市

宮城県石巻の復興商店街。お店ができ、広告物が設置されることが、住民の元気を生み出す力となっている。

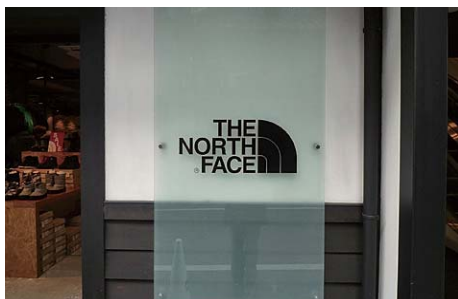


衣 料 品 店



ほっともっと
山口県萩市

場所にふさわしい大きさにすることで、環境を阻害せずに十分な効果が望めます。



ザ・ノースフェイス京都店
平成24年度京都景観賞
京都府京都市中京区

京都市歴史的意匠建築物に指定されている宮脇賣扇庵旧店舗が、マンションの一部として改装されており、厳しい制限がかかっている建物の看板。さりげなく配置された看板が既存建物の白壁との一体感を醸し出しており、新しい可能性を見出すことができます。



コメダ珈琲店金沢村松店
平成22年度金沢市広告景観協力賞
石川県金沢市

独立広告物の地色を一部変更し、色数を抑えた広告物を掲出するなど、周囲の景観に配慮したデザインとなっています。



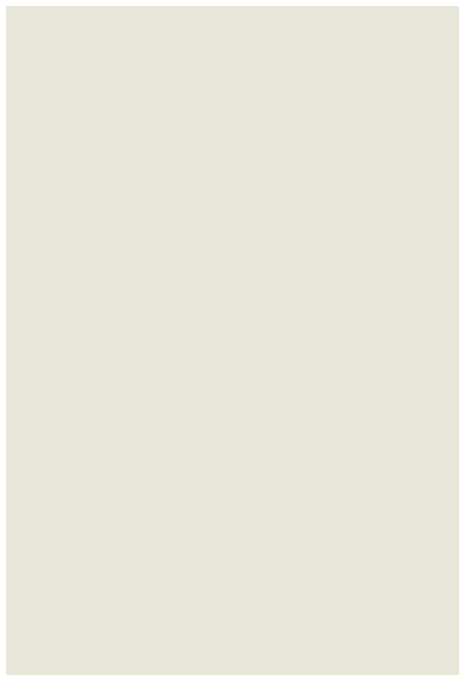
洋服の青山 金沢鞍月店
石川県金沢市

シンプルなデザインは紳士的で企業の誠実なイメージを発信しています。



はるやま敦賀店
第4回ふるさと福井景観広告賞
福井県敦賀市

これまでの紳士服店のイメージを一新するため、広告物を質の高いデザインに改善したものであり、シンプルなデザインは紳士的で企業の誠実なイメージを発信しています。



TAKAQ 京都四条店
平成25年度京都市優良意匠屋外広告物
京都府京都市下京区

京都の繁華街四条通のアーケードに向けて開いた白い門構えが、店内の高揚感を期待させる作りとなっています。白いゲートの上部に配置された看板も、日常と非日常を分かち道標のように見受けられます。



サークルK 金沢大学店
平成18年度金沢市広告景観協力賞
石川県金沢市

シルバー調のオシャレな広告物は若者や女性から支持されやすいデザインです。

コンビニエンスストア



セブンイレブン京都福王寺店
平成20年度京都市優良屋外広告物賞
京都府京都市右京区

全国展開のコンビニエンスストア、同社の広告物は、オレンジ、緑、赤のラインが目を引くデザインとなっています。この店舗では、世界遺産である御室仁和寺のそばに建つことから、白色の下地の上に、茶色一色で細いラインとロゴマークのみを配置した、非常に抑えたデザインとなっています。また、店舗も勾配のある瓦屋根を持つ和風建築で仕上げられ、広告物、建物ともに、地域への配慮を伺うことができます。



ローソン八坂神社前店
平成20年度京都市優良屋外広告物賞
京都府京都市東山区

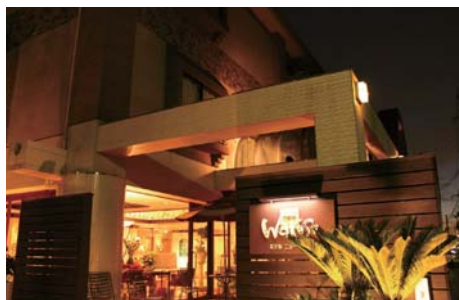
全国展開のコンビニエンスストアの店舗の広告物であるこの作品は、八坂神社の石段下にあつて、観光客が多く訪れる、歴史都市・京都を代表する地域の意味を十分に捉え、多店舗でイメージ統一しているシンボルカラーの青色を使わない、大胆なデザインを実現しています。シンプルな黒色のロゴマークが設置された和紙調の照明は、行灯をイメージし、アーケード下を柔らかく照らしています。部分的に格子が設けられた開放的なガラス窓は、ポスターや幕の表示を控え、すっきりしたイメージの仕上げとなっています。また、照明パネルを留める金色の化粧ナットや、同系色でまとめられた店舗内部の什器など、全体として様々な工夫と配慮が見られます。地域の景観への配慮から、色彩を抑えつつ、積極的なデザインの工夫がなされたこの作品は、今後の京都の屋外広告物をリードすべき存在として、高く評価されました。

宿 泊 施 設



ローソン御池笹屋町店
平成 24 年度京都景観賞
京都府京都市中京区

京都風の意匠を創出しており、全国展開するチェーンの店舗としての京都での取り組みが評価されました。



ホテルニューわかさ
2013 なら景観調和広告賞
奈良県奈良市

ホテル入りロテラスの木製外壁に取り付けられたサインは、リニューアルの意気込みを感じさせる整ったデザインで、材料や加工など、製作・施工への細かな配慮が感じられる。

ボリュームや色彩を抑えている点も、住宅地区の界索性や景観への配慮をうかがわせるサインである。



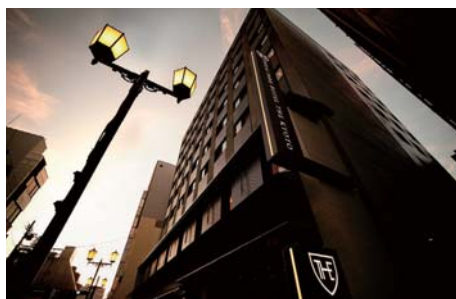
ローソン西宮甲子園九番町店
兵庫県西宮市

阪神球団のカラーをまとった甲子園球場近くの「タイガースローソン」。



北国街道の宿 紗蔵
平成 25 年長浜景観広告賞
滋賀県長浜市

江戸末期の古民家を再生した旅館の壁面に設置された広告物は、格子や白壁、一文字瓦などとバランス良く配置されている。伝統的な町家や通りの魅力を高めるとともに、かつて宿場町として栄えた往時のまちなみを偲ぶことができる。



ロイヤルパークホテル ザ 京都
平成 25 年度京都景観賞
京都府京都市中京区

京都の繁華街、三条河原町にあるホテルです。京都の景観を意識したモダンでスタイリッシュなデザインの広告物と建物が、美しさと強さを見事に表現し、街の景観に大きく寄与しています。



ホトリニテ
第 2 回山梨県美しい県土づくり大賞
おしゃれな広告物賞 山梨県山中湖村

いさぎよく施設名とロゴのみに絞ったシンプルな表示は、一度見ただけで記憶できるほどのインパクトがあります。情報を絞ることで、伝えたいことがストレートに伝わってくる好例です。



コンセプトホテル和休
2010 景観広告とやま賞
富山県富山市

和の書体と落ち着いた色のシンプルな看板のデザインからやすらぎのイメージが作り出されている。ホテルのコンセプトをよく表しており、泊まってみたいと思わせるような雰囲気をつくり出している。

大型商業施設



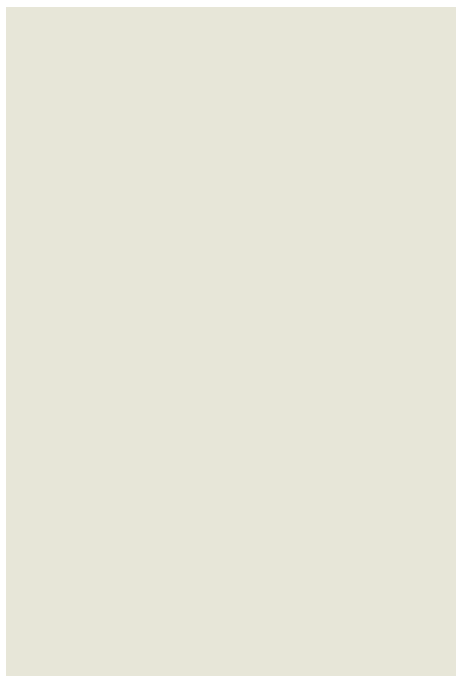
シタディーン京都烏丸五条
平成 24 年度京都景観賞
京都府京都市下京区

京都の幹線道路，烏丸五条に面して建つアパートメントホテルの看板です。京都の街並みの中に自然と佇む落ち着いた外観とともに，伝統的な京町屋の格子をイメージした壁を木とアルミによる現代的な意匠で表現し，そこにステンレス製の切り文字サインがさりげなく配置されています。



イオンタウン金沢示野
石川県金沢市

景観や地域に配慮した全国展開は、企業の誠実さを感じさせます。





**OGIKUBO TOWN SEVEN
SHOPPING CENTER**
第 9 回東京屋外広告コンクール
東京都知事賞
東京都杉並区

外壁の角面を地上から屋上まで白い帯にした。
建物の全体色はグレーの一式。その2色が一体となっ
て全体が昼夜とも一種の「サイン建築」になるように
極力シンプルにまとめたところは高く評価できるだろ
う。



福岡パルコ
第 24 回福岡市都市景観賞
福岡県福岡市中央区

74年目にして全面リニューアルされた当ビルは、真っ
白な金属パネルとガラスで構成されたスタイリッシュ
な外観に、夜間はLED照明が施される。外壁の白い
輝きはこの交差点に新しい時代が到来したことを告
げ、夜の光の演出は交差点を行き交う人々の心をと
きめかせる。これは単なる商業ビルのリニューアルで
はなく、天神という愛され続ける街の再生の一幕なの
である。



アルピス呉羽本郷店
2009 景観広告とやま賞
富山県富山市

郊外にある大型スーパー。最近デザインレベルを上げ
てきている富山県内のスーパーの中でも、特に良くで
きた事例である。郊外型店舗として品良くすっきりと
まとまっている。



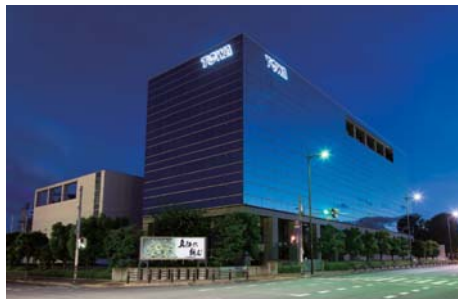
キャナルシティ博多イーストビル
第 25 回福岡市都市景観賞
福岡県福岡市博多区

キャナルシティ博多イーストビルは、博多駅前通りからキャナルシ
ティ博多へのゲートウェイ。テナントの広告は緑化された上層部の
壁面の中に設置されている。ロゴ・マークのみを使ったミニマ
ムな広告は「緑の余白」の中で視覚的な秩序を保っており、またそ
れらは、歩行者レベルにある店舗ディスプレイとは一線を隔てた上
層部にあって、建築物全体として美的な景観を生み出している。
スマートフォンを建物に向ければ関連情報が得られる今日、もはや
屋外広告に過剰な文字情報は不要である。ミニマムな情報ユニット
と、壁面緑化された建築との安定感ある一体化。イーストビルは、
今日のメディア環境を前提とした建築と広告の調和を見事に実現し
ている。



ニチコン本社
平成 20 年度京都市優良屋外広告物賞
京都府京都市中京区

京都の中心地である烏丸御池交差点に建つ、局面で構成されたガラスの外壁が印象的な高層の企業ビルに取り付けられた屋外広告物です。抑制の効いた箱文字形状の広告物は、壁面ガラスの色にもマッチしたさわやかな青色です。交差点からの視線を考慮して、小さいながらも、建物全体の中で一番効果的な場所に配置されています。烏丸御池のランドマーク的存在である建物の魅力を損なわないように、最小限の表示にし、都市景観に配慮されています。



TOWA本社
平成 25 年度京都景観賞
京都府京都市南区

国道 1 号線沿いにある京都を代表する半導体メーカーの本社ビルです。広告自体のデザイン性を高く評価すると共に、施行が困難なミラーガラスの建物壁面上部に広告物を設置した施工業者の高い技術力も評価されています。



北陸コカ・コーラボトリングス
2014 景観広告とやま賞
富山県富山市

シャープな外観のガラスウォールに、コーポレートカラーである赤を使用したコンパクトなロゴサインが配置され、ほどよいアクセントとなっている。ロードサインもシンプルにまとめられており、周辺の景観にマッチしている。

金
融
機
関



タイヨーパッケージ本社
2011 景観広告とやま賞
富山県立山町

豊かな田園風景の中にある白を基調とした印刷機をイメージさせる社屋に黒を基調にオレンジ色を用いたサインのワンポイントが効いている。また、建物とサインのトータルバランスが優れており、サインが活きる空間づくりがなされている。



はままつ信用金庫きらりタウン支店
2014 はままつ広告景観賞
静岡県浜松市浜北区 ©Forward Stroke inc.

「きらりタウン浜北」のお洒落な街並みと調和しつつ、遠州灘の波をイメージしたという全体のフォルムと、地元産の天竜杉をふんだんに使用した内装により、女性のみで運営する店舗のやさしさを的確に表現している。ソーラーシステムとLEDを採用し、環境にも配慮しながら、ガラス張りの店内照明は夜間も街を照らすなど地域の魅力向上に貢献している。色調を品よく抑えながらも、街の豊かさをリードしていこうという意気込みを感じさせる。



YKK AP 黒部荻生製造所
2009 景観広告とやま賞
富山県黒部市

田園地帯にある工場。工場自体の建築とサインがシンプルながらも周辺景観にマッチしている。高さを抑えた玄関横の社名表示も余白の使い方が優れている。また夜間景観にも工夫が見られる。非常に美しくまとめであり、工場におけるサインのあり方として手本になる。



京都銀行門真支店
第4回おさが優良緑化賞
大阪府門真市

生き生きとした植物と屋外広告物や建築物がうまく調和していることで、緑豊かで落ち着いた景観となっている。



北陸銀行大野支店
第5回ふるさと福井景観広告賞
福井県大野市

福井県大野市の七間通りにある銀行。越前大野の七間通りには昔ながらの町家が残り、今なお城下町の風情が感じられる。七間通りの歴史的な景観と調和するよう、店舗の改装に合わせて、コーポレートカラーを使用した突出看板を撤去し、緑の筆文字でデザインした和風の木製看板に改善したものである。記号イメージを発信するため画一的なデザインで屋外広告物を設置する企業が多い中、地域の景観に配慮して屋外広告物を改善した活動は高く評価できる。景観と屋外広告物に配慮する高い企業意識は、他の模範となるものである。



東京三菱 UFJ 銀行京都支店
平成25年度京都市優良意匠屋外広告物
京都府京都市下京区

京都のオフィス街・四条烏丸の南東角で都市の移り変わりを見つめてきた旧ビルの部分保存として有名です。玄関に掲げられた広告物が、当時の建築様式との相乗効果により、その存在を際立たせています。



富山第一銀行高岡支店
2013 景観広告とやま賞
富山県高岡市

北陸新幹線新高岡駅周辺に立地している。サインは、コーポレートカラーを活かしながらもすっきりとしたデザインでまとめられており、新駅周辺の景観づくりを牽引することが期待される。

遊 技 場



とみしんB & L コンサルティングスクエア
2010 景観広告とやま賞
富山県富山市

富山市南部にある信用金庫。国道41号線の大通りがありながら、落ち着いた色使いであり、品良く店舗が主張されている。また、木の質感を活かした店舗の壁面ともうまくバランスがとれている。



ZENT市ノ坪店
平成26年度岐阜市景観賞
岐阜県岐阜市

緑化した壁面をキャンパスにシンプルなデザインの表示が印象的です。



カー デ ィ ー ラ ー



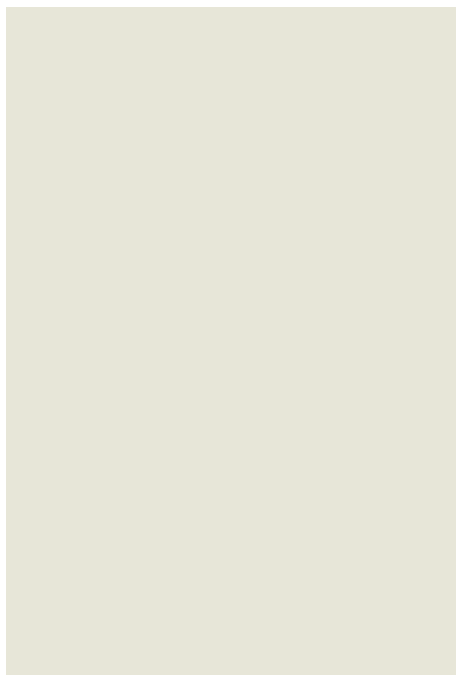
APOLLO長田店
平成23年度金沢市広告景観協力賞
石川県金沢市

周囲の景観と調和し、建物とのバランスにも配慮した優れたデザインとなっている。



ポルシェセンター西宮
兵庫県西宮市

文字サイズが抑えられ、すっきりとシンプルなデザインとなっています。





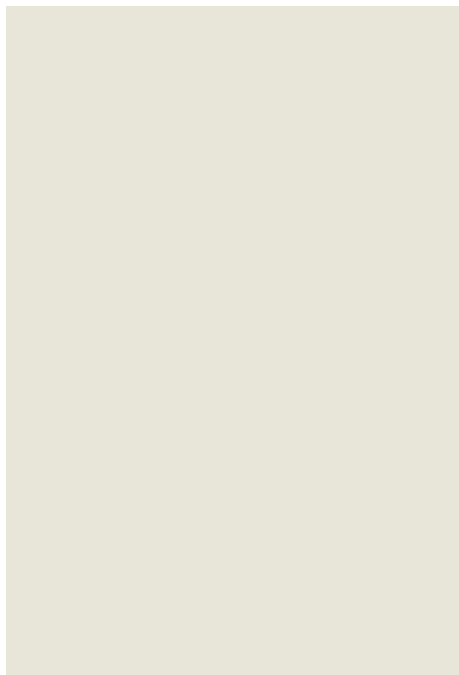
フォルクスワーゲン西宮・ボルボ・カーズ西宮
兵庫県西宮市

幹線道路沿いに位置し、まちなみに調和した広告景観
となっています。



フォードOSAKA西宮店
兵庫県西宮市

清潔感のある色彩を基調とした美しいデザインとなっ
ています。



Audi山陰
第14回島根景観賞
島根県松江市

清潔感のある色彩を基調とした美しいデザインとなっ
ています。



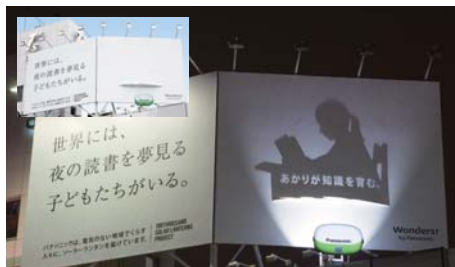
たいやきたいち
第9回東京屋外広告コンクール
東京商工会議所会頭賞
東京都荒川区

電柱広告の一つとして、住宅街で目にしても、なじみやすく親しみを覚えて嬉しくなる素直なデザイン。



秋田県デスティネーションキャンペーン
だれだ？秋田だ！
第9回東京屋外広告コンクール
東京都知事賞
JR山手線車体広告

秋田県の線書きパターンが人の顔に似ていることから名付けられたキャッチフレーズ。電車の左右のドアで語呂合わせし、片方に秋田犬、竿燈、なまはげ、きりたんぽを描いて、ユーモアあふれる楽しい広告とした。



パナソニック
ソーラーランタン寄贈プロジェクト
第9回東京屋外広告コンクール
東京都知事賞
東京都渋谷区

夜でも本を読みたい発展途上国の子供に贈るソーラーランタンの姿は何も昼間は見えない。代わって広告面の下部に異様な小さい突き出しがのぞいている。夜になるとその下に取り付けられたソーラーランタンが点灯し、影絵によって画面上に本を読む子供の姿を描き出す。キャッチコピーはその影の中にだけおさめている。シルエットを損ねるものが全くないところがとてもよい。

まちとつながるサインのアーカイブを

多くの地域の屋外広告業団体が、現在でもその名称の一部に「美術」という言葉を採用しています。屋外広告業とは、伝統的に、経済活動に密着した、技能、工芸、美術の範疇に入る職業でした。技術の進歩が著しい現代にあつて、こうした「グラフィックマンシップ」こそ、屋外広告業界が改めて自覚すべき精神であると考えます。

その精神をもって、これまでともすれば景観阻害要因と揶揄されてきた屋外広告物の社会的評価を高めること。このことは、同時に事業主・広告主のみなさまの企業価値向上に寄与すること、地域の魅力づくりに貢献することにつながるものと考えました。

そしてそのためには、事業主・広告主のみなさまのご理解とご協力、ユーザーである地域住民のみなさまのご支持が不可欠です。

この冊子は、事例の数も十分ではなく、また地域的な偏りがあつたりなど、いまだ十分なものではありませんが、「まちとつながるサイン」をアーカイブ（保存）し、街や時代を彩るサインの歩みを後世へと伝えていくための小さな第一歩です。

屋外広告物を顕彰する取り組みがさらに広がり、もっと多くのみなさんにつながつて、ともに景観のあり方を考えていくことができれば、サイン文化復興の日も遠くはない、そう考えます。

みなさま方の一層のお力添えをいただければ幸いです。

まちとつながるサイン

地域に共感される屋外広告物 事例編

2015年9月発行

発行 屋外広告物適正化推進委員会

〒130-0014 東京都墨田区亀沢 1-17-14（屋外広告会館）

一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会内 TEL03-3626-2231（代）

編集 屋外広告物適正化推進委員会 啓発部会

屋外広告物適正化推進委員会